

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	林業振興事業		
部局名	地域振興部	課(室)名	農林水産課

【基本情報】

基本目標	03 うるおいのある環境の中で暮らせるまちをめざして	会計	01 一般会計
政策	01 地球環境と地域の環境を保全する	款	06 農林水産業費
施策	02 地域の自然環境を守る	項	04 林業費
期間	～ 永年	目	01 林業振興費
事業区分	⑤市施策事業(経常)	細目	005 林業振興事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等			

【現状と課題】

現状と課題	農作物被害の増加、動植物の生息環境に悪影響をもたらす外来生物の増加、また有害鳥獣(主にイノシシ)の増加に伴い、農業者の生産意欲の低下や地域の動植物の生息環境の悪化が懸念されている。荒廃した森林については整備活動に対する補助が求められている。
-------	--

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)	意図(どのような状態にする)
○市民、主に市内農業者(有害鳥獣捕獲業務)○森林又は公園を憩いの場として利用する市民(公益森林保育業務)	○有害鳥獣捕獲業務を地元猟友会に委託(有害鳥獣等捕獲業務)○明神の森の保育管理を地元町内会に委託(平岡町新在家、公益森林保育業務)、下刈り作業を県内森林組合に業務委託(上荘町白沢、公益森林保育業務)○森林整備に取り組む地元住民活動組織に対する支援(国・県事業の活用)	○農作物に被害を与える特定外来生物、有害鳥獣を捕獲し生息数を減少させることで、農業者の生産意欲の低下を防ぎ、同時に動植物の生息環境の保全を図る。○森林を保全することにより、生物多様性保全や保健休養の場の提供等の森林の持つ多面的機能の維持を図る。

対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
捕獲頭数(特定外来生物)	頭		212	250		
捕獲頭数(イノシシ)	頭		45	90		
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
有害鳥獣等捕獲業務委託料	千円		1,497	1,860		
公益森林保育業務委託料	千円		440	440		

活動指標分析結果	近年、有害鳥獣等の捕獲頭数が増加傾向にあり、それに伴い業務委託料も増加させ、捕獲業務の拡大を行っている。委託料に関しては、捕獲実績によって委託料の増減が生じるため、毎年見直すのが妥当であると考えられる。
----------	---

事業費	千円		2,288	3,130		
-----	----	--	-------	-------	--	--

成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
捕獲頭数(特定外来生物)	頭			200	280	平成27年度
上段:計画値/下段:実績値			212	250		
捕獲頭数(イノシシ)	頭			50	90	平成27年度
上段:計画値/下段:実績値			45	90		
上段:計画値/下段:実績値						

成果指標分析結果	特定外来生物(アライグマ、ヌートリア)の捕獲頭数、イノシシの捕獲頭数はどちらも増加傾向にある。捕獲頭数については捕獲従事者数や環境の変化によって増減が生じるが、平成25年度の水準で業務委託を続けることが、妥当であると考えられる。
----------	--

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	妥当性は高い
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	貢献度が中程度/義務的業務
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	影響は大
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	変える必要はない
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	把握している
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	向上余地が考えられる(中小程度)
	7 類似事業との統廃合ができませんか。	評価	統廃合はできない/類似事業はない
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	取り入れる余地がある
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	コスト削減余地がない
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	おおむね適正であり、当分の間見直す必要がない

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了	
特定外来生物の捕獲頭数、イノシシの捕獲頭数はどちらも増加傾向にあるので、地元猟友会による捕獲活動を継続して行う必要がある。また、地元猟友会が効果的に捕獲活動を実施できるように、捕獲わなの絶対数の増加が必要である。	

※事業費と財源内訳

決算額	3,130	内訳	国費	県費	967	市債	他	31	一般	2,132
-----	-------	----	----	----	-----	----	---	----	----	-------